

# 隆宣寺報



令和五年

11月



毎週日曜日 8時半～9時は「<sup>ほうじょうごじ</sup>法城護持」みんなでお寺をお掃除しよう♪

<sup>あき おえしき こうそえ</sup>  
◎秋の御会式（高祖会）

【第一座】11月18日（土）18時 <sup>まつもとりょうこう じゅうしやく</sup>松本良光ご住職  
【第二座】11月19日（日）10時 <sup>やまうちにちらい どうし</sup>山内日禮お導師（廣宣寺）

<sup>おえしきせいてんきがんじょぎょう</sup>  
◎御会式晴天祈願助行

【朝の部】11月13日（月）～17日（金）朝参詣後9時まで  
【夜の部】11月13日（月）、15日（水）19時～20時

<sup>ごりやくかんとくじょぎょう</sup>  
◎御利益感得助行 11月4日（土）9時～12時

世のため人のために唱える御題目が<sup>とな おだいもく もっと</sup>最も自分のためになります！

『人生に心配は付き物だから』 住職・松本良光

いつもニコニコ、元気ハツラツの息子ですが、じつは今心配なことがあります。それは小学校まで一人で行かなきゃいけないこと。といっても、まだ半年先の話です。「お友達と一緒にいくから大丈夫やで」と何度も言い聞かせますが、「え〜っ、ほんまにい〜」と不安で仕方がないようです。



小学校まで一人で行かなきゃいけない事

『ドキドキドン！一年生』という定番ソング。じつは私も小学校入学前に不安になり、この歌を耳にするたびにソワソワしたものでした。そんな思い出深い歌の中に「誰でも最初は一年生。ドキドキするけどドンと行け」という一節があります。確かにその通りで、はじめは誰だって不安や心配を抱えながらスタートをするものです。

では、大人になってしまえば心配なことなんて無いのかというと、そんなことはありません。若い人には若い人なり心配が、お年寄りにはお年寄りなりの心配があるもの。まさに人生に心配は付き物なのです。

というのも、私達は「いつだって一年生」という一面があるからです。たとえば、私は先月で44歳になりました。もちろん44歳になるのは初めてです。お寺には人生の先輩がたくさんいますが、同じ歳を何年もやっている人はいません。毎年新しい年齢になっています。そういう意味で、いつも一年生だということなのです。

もう少し細かく考えてみると【今日】という日を迎えるのも誰もが初めてです。「じつは2回目なんです」という人は絶対にいません。つまり、私達は毎日、毎日新しい日を迎えていて誰だって初体験。「今日を生きる」ということに関しては誰もが初心者だということなのです。

そう思うと人生に不安や心配があるのは当然のことです。何もおかしなことではないのです。ただ、問題になってくるのは、その心配をどう取り扱って、どのように処理するのかという点。人生に心配は付き物。だからこそ、その心配と上手に付き合う方法を知っておきたいものです。

# 《御教歌》

死んだれば どうなる知らぬの 心配を

預かり給う 南無妙法蓮華經

人生に心配は付き物です。もし頭で考えて解決するなら  
とことん考えるのも一つ。でも、考えてわからないことを  
考え過ぎるのは何の役にも立ちません。そんなことよりも、  
「南無妙法蓮華經」と唱えて仏様に心配を預けてしまうのが  
一番ですよ、お示しの御教歌です。

私達にとって究極の心配事と言えるのが「いつ、どこで、  
どう死ぬか？死んだ後どうなるか？」という問題でしょう。  
当然この問題に答えられる人はいません。なので、考える  
必要は無いのですが、だからと言って「何もしなくていい」  
という訳ではありません。ここが重要なポイントです。  
たとえば、私達は遅かれ早かれ死を迎えます。それなのに、  
何の準備もしないでいると、それが心配の原因となります。  
もっと言うと、死を迎える瞬間まで私達はより良く生きる  
ことができます。そのために何をすべきかを考え、行動する。  
そうする中で自然と心配は解消されていくものなのです。

それは「死ぬ」という問題に限ったことではありません。  
仕事や勉強、家事のこと。お金や恋愛、人間関係のことなど  
全ての心配事においても同じことが言えます。心配するの  
は仕方ありません。でも、心配の取り扱い、処理方法を  
間違えると、必要のない悩み、苦しみを抱えることになり  
ます。すると人生に迷うことになり、こうして生きている  
瞬間を浪費してしまふことにもなりかねません。



心配は私が預かります

どうか任せてください

そんな私達に仏様からの  
メッセージ。「その心配は私が  
預かりますよ。どうか私に任  
せてください」こんな有難い  
ことはありません。自分一人  
で抱え込んで「どうしょく」  
となるくらいなら、とつとつ  
仏様に預けてしまふ。あとは  
自分がやるべき仕事、勉強、  
家事に打ち込むのみ。すると  
心配は安心と自信に変わって  
いきます。ぜひ、試してみ  
て欲しいと思います。

【御指南】

「考えてわからぬことを止めにして、うちもたれて口唱せよ」

これは仏様に心配を預ける方法について教えてくださるお言葉です。ポイントは2つあります。

① **考えてわからないことを、あれこれ考えるのは止める。**

② **仏様に全部預け切るつもりで「南無妙法蓮華経」と唱える。**

まず①に関していうと、あれこれ考える時間があるなら、お寺にお参りして「南無妙法蓮華経」と唱える。また自宅の御宝前（仏様）の前に座って「南無妙法蓮華経」と唱える。そういう習慣・クセを身につけましょう、ということなのです。

②は「南無妙法蓮華経」と唱える時の心構えを教えてください。さっています。ちよつと預けてみるとか、たまに預けてみるとかではなくて、自分の心配をぜんぶ預け切るということなのです。そういう思いで「南無妙法蓮華経」と唱えられるようになりましょう、ということなのです。

そうは言っても、私も不安や心配を抱える一人であり、決して完璧ではありません。むしろ、誰よりも心配性だと思えます。息子が一人で学校へ行くのだって心配でたまりませんから（笑）

でも、だからこそ仏様に預けまくる訳です。そのお陰で息子にも「大丈夫やで」と胸を張って言うことができます。もし、親まで不安になって「どうしょく」となったら子供が安心できるはずありませんからね。そうやって、お父さん、お母さんの言葉を信じている子は決して人生に迷うことはありません。ちゃんと前に進むことができます。それはご信心をさせてもらっている私達だって一緒です。

仏様を信じて、心配を預けることができるからこそ迷わず前進することができるよう。それこそ「ドキドキするけどドンと行け」で、これこそご信心をさせてもらっている私達の大きな強みです。人生のこれから先を思い描けば必ず心配は出てくるもの。でも、それを夢や希望に変えられるから生き甲斐、モチベーションになります。心配のことなら、ご信心で上手に解決しよう！



# 《お供水<sup>こうずい</sup>をいただきましょう!》

Q お供水<sup>こうずい</sup>って?

A 御宝前<sup>ごほうぜん</sup> (仏様<sup>ほとけさま</sup>) にお供えした有難<sup>そな</sup>いお水<sup>ありがた</sup>です。<sup>みず</sup>



Q どう有難<sup>ありがた</sup>いの?

A 仏様<sup>ほとけさま</sup>の功德<sup>くどく</sup> (パワー<sup>こ</sup>) が込められています。

毎日<sup>まいにち</sup>いただければ効果<sup>こうか</sup>抜群<sup>ばつぐん</sup>です!

Q どんな効果<sup>こうか</sup>があるの?

A 病気<sup>びょうき</sup>を未然<sup>みぜん</sup>に防<sup>ふせ</sup>いだり、病気<sup>びょうき</sup>やケガの回復<sup>かいふく</sup>が

早<sup>はや</sup>くなったりなどの御利益<sup>ごりやくだん</sup>談<sup>た</sup>が沢<sup>たく</sup>山<sup>さん</sup>あります。

\* 動物<sup>どうぶつ</sup>や植物<sup>しょくぶつ</sup>にも効果<sup>こうか</sup>があります。



【写真1】

Q どこでいただけますか?

A 本堂<sup>ほんどう</sup>でいただけます。備え付け紙コップ<sup>そな</sup>に

お供水<sup>こうずい</sup>タンク【写真1】から注<sup>そそ</sup>いでください。

水筒<sup>すいとう</sup>などに入れて持ち帰<sup>い</sup>ることもでき<sup>も</sup>ます。<sup>かえ</sup>

衛生面<sup>えいせいめん</sup>の配慮<sup>はいりょ</sup>が必要<sup>ひつよう</sup>な場合<sup>ばあい</sup>はペットボトルの

お供水<sup>こうずい</sup>【写真2】をお持ち帰<sup>も</sup>りくだ<sup>かえ</sup>さい。



【写真2】

Q 誰<sup>だれ</sup>でもいただけますか?

A どなたでもいただけます。病気<sup>びょうき</sup>でお困<sup>こま</sup>りの方<sup>かた</sup>

などに、お供水<sup>こうずい</sup>の有難<sup>ありがた</sup>さをお伝<sup>つた</sup>えしましょう!



《婦人会》

本年最後の御会式（高祖会）が奉修されます。万障お繰り合わせの上、ご参詣ください。新型コロナ、インフルエンザ対策として手洗い、うがいを怠らないようにしましょう。

■行事予定

3日（祝）10時 布教区婦人会学習会

（妙宝寺）

7日（火）朝参詣後 弘通促進助行

11日（土）朝参詣後 執行部会議

12日（日）13時 婦人会御講（本堂）

願主・長洲隆宣組

体験談・北隆宣組

《壮年会》

今月は高祖会の奉修です。寒くなりましたが体調に気をつけて御奉公いたしました。12月の年次総会の後、忘年会を予定しています。多数ご参詣ください。

■行事予定

11日（土）17時 壮年会御講（本堂）

山内達男席

23日（祝）8時45分 弘通促進助行

《青年会》

今月は高祖会です。年内最後の御会式ですので、今から予定を確認して、必ず参詣させていただきましょう。

■行事予定

26日（日）16時 青年会御講

《くんげ会》

朝晩が寒くなってきましたね。今月は御会式、七五三御礼参詣、そして布教区くんげ会の野外例会と盛り沢山♪元気に参詣させていただきます！

■行事予定

12日（日）14時 七五三御礼参詣（本堂）

終了後、幹事会

23日（祝）10時 布教区くんげ会

野外例会（廣宣寺）

\*詳細は本誌7頁をご覧ください



## 秋の御会式について

- 【第一座】11月18日(土)18時 まつもとりょうこう じゅうしよく 松本良光ご住職
- 【第二座】11月19日(日)10時 やまうちにちらい どうし 山内日禮お導師(廣宣寺)
- ◎参詣座席は《本堂》です。
- ◎会館2階洋室は「モニター席」です。
- テレビモニター越しにお参りすることができます。
- ◎会館2階和室は「キッズルーム」です。
- こども達の言動にご配慮ください
- ◎第一座は駐車場の利用が可能です。
- ◎第二座は利用できません。(コインパーキングをご利用ください)

### 阪神布教区くんげ会

## 「カレーだよ！全員集合」

令和5年11月23日(祝)《雨天決行》

場所：こうせんじ 廣宣寺(西宮市津門稻荷町4-23)

内容：はんごうすいさん 飯盒炊爨&カレーづくり

持物：おじゅず、エプロン、軍手

会費：大人100円 薫化会・青年会は無料

10:00 集合・受付

10:10 おまいり(本堂)

10:30 はんごうすいさん 飯盒炊爨&カレーづくり(境内地&食堂)

12:30 昼食・片付け

14:30 解散 【参加申込は各寺院薫化会まで】



■11月の予定

1日 (水)	19時	月始総講
4日 (土)	9時、12時	御利益感得助行
5日 (日)	16時	幹部会
6日 (月)	6時半	日淳上人御修行
12日 (日)	7時	高祖大士御修行
12日 (日)	14時	七五三御礼参詣
14日 (火)	19時	組長会議
16日 (木)	8時	全国統一口唱会
17日 (金)	6時半	開導聖人御修行
18日 (土)	8時	御会式準備
18日 (土)	18時	秋の御会式【第一座】
19日 (日)	10時	秋の御会式【第二座】
25日 (土)	7時	門祖聖人御修行

【第一教区】

役中御講 (本堂)	元江源一郎 席
☆26日 (日) 13時	
大阪隆宣組 (自宅)	鳥越睦子 席
○5日 (日) 14時	
☆23日 (祝) 16時	藤原英志 席
杭瀬隆宣組 (本堂)	
☆26日 (日) 14時半	青木邦夫 席
長洲隆宣組 (自宅)	
☆30日 (木) 13時	木原大祐 席

【第二教区】

役中御講 (本堂)	鈴木照子 席
☆25日 (土) 10時	
難波隆宣組 (本堂)	多和光男 席
☆15日 (水) 11時	
立花隆宣組 (本堂)	橋本浩幸 席
☆3日 (祝) 16時	
○11日 (土) 11時	春日淳司 席
北隆宣組 (自宅)	
☆26日 (日) 10時	山内 徹 席

【第三教区】

役中御講 (本堂)	藤原 進 席
☆26日 (日) 17時	
尼崎隆宣組 (本堂)	松本冬子 席
☆10日 (金) 18時	
大庄隆宣組 (本堂)	大西千恵子 席
☆4日 (土) 17時	
武庫隆宣組 (本堂)	諏訪蘭秀子 席
☆27日 (月) 11時	

【補講】(本堂)

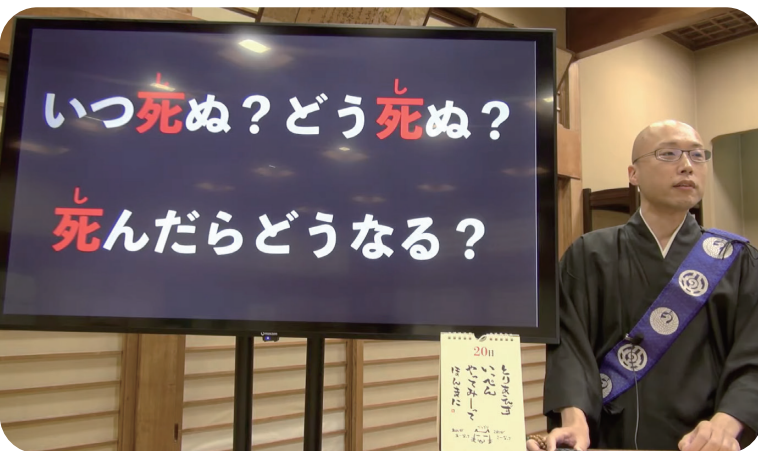
☆25日 (土) 13時 (全信徒対象)	
----------------------	--

\*補講の後には「法鼓練習会」を実施

【教養各会】

壮年会 (本堂)	山内達男 席
☆11日 (土) 17時	
婦人会 (本堂)	長洲隆宣組
☆12日 (日) 13時	
青年会 (本堂)	青年会御講
☆26日 (日) 16時	
薫化会 (本堂)	
☆12日 (日) 14時	七五三御礼参詣

◎お寺での御講はYouTubeでライブ配信 (生中継) を予定しています



隆宣寺住職  YouTube 「松本良光」チャンネル

